

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

# とう 雲 稲 雲

第14号

令和2年10月28日発行

発行者：校長 小貴 崇明



## ○秋華祭～仲間とともに最高のシーンを残しました～

10月17日（土）、稲田学園文化祭「秋華祭」を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して7～9年生の生徒のみで実施し、保護者の方の来校も制限させていただきました。また、出演者の家族のみが体育館に入場し、その他の方々はリモート中継により稲雲ホール等でお楽しみいただきました。

7年生以上の生徒たちは、修学旅行や学習旅行、新人戦などが終わってからの限られた時間の中で仲間と協力し、一人何役もこなしながらすばらしい秋華祭を作りあげてくれました。まさに、今年のテーマ「空（から）のフィルム ～仲間とともに最高のシーンを作ろう～」のとおり、稲田学園の生徒の最高のシーンをたくさん見ることができた一日でした。



## ○教育施設落成記念式典～最高の環境が整いました～



10月17日（土）、秋華祭を始める前に、延期していた稲田学園教育施設落成記念式典を開催しました。昨年度末に稲田学園の教育施設がすべて完成したことを祝って、式典の中では、教育施設完成に貢献していただいた元稲田小教諭・國井伸行様、渡辺建設社長・渡辺正広様、明るいまちづくりの会稲田地区委員会様の皆様に感謝状を贈呈させていただきました。

なお、式典後に予定していた落成記念植樹は雨天のため延期していましたので、晴天となった10月27日（火）に、校長と児童生徒代表の3名で、正門近くにソメイヨシノを植えました。（写真右）





## ○運動会～輝きながらゴールする稲田の子どもたち～

10月24日(土)、稲田学園運動会を開催いたしました。今年度の運動会は、コロナ禍の中、3密を防ぐため1年生から6年生だけによる行事にいたしました。

スローガン『つなごう！バトンに 自分の意思を』の下、それぞれの種目への参加や仲間への応援、運動会の準備から運営、後片付けに至るまで「自分の意思」がはっきり感じられ、子ども達の前向きな姿が多く見られました。また、競技種目だけでなく紅白応援団が中心となった応援合戦もすばらしく、短期間の練習ではありましたが内容のある運動会となりました。

運動会の実施にあたり、PTA・体文役員、各学年正副委員長の皆様には早朝よりご協力いただきありがとうございました。また、子ども達に温かな声援を送って下さったご来賓や保護者の皆さま、大変お世話になりました。



## ○「人権の花」贈呈式

10月21日(水)、本校で「人権の花」贈呈式が行われました。贈呈式には人権擁護委員、須賀川市企画政策部の方が来校し、プランターの鉢植え(パンジー)が環境整備委員会の代表児童4名に贈呈されました。人権の花は、「協力して育てることによって、生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、やさしさと思いやりの心を体得する」ことを目的としています。稲田学園の全員で協力し、大切に育てていきます。



### ★ことばのちから(14)「成功は保証されてないけど、成長は保証されていると思って頑張ってきた」

この言葉、なんと元スマップのメンバー、中居正広さんの言葉だそうです。厳しい芸能界はもちろん、社会で自分が取り組んできた仕事や自分の得意な分野で、絶対に成功するなんて保証はされていません。でも、中居さんの言うように、努力した結果うまくいったこと、うまくいかなかったこと、人を感動させたこと、がっかりさせたことなど、様々な経験をしてきた人は、その経験を通して確実に成長したと言えると思います。その成長を自分で感じられる人は、自信につながるでしょう。感じられない人には、成長していることを周りの人から教えてあげましょう。コロナ禍の中で、授業や部活動、秋華祭や運動会でも、稲田の子どもたちは、しっかり成長してますよ。校長の私が保証します！！